

## 海外安全対策情報

### 1 治安情勢

- (1) メキシコ公安省の発表では、グアナファト州の2020年度第1四半期(2020年4月～6月)の犯罪発生認知総数は26,420件と、前期比(2020年1月～3月)23.3%減となっている。これは、コロナ禍により経済活動が自粛され、市民の外出が制限されたことにより一般犯罪が減少したものだと思われる。一方、故意殺人事件の認知件数については844件と前期比0.3%減少と横ばいに推移、車両強盗に関しては669件と前期比3.4%増加、店舗・事務所強盗に関しては797件と前期比4.4%増加しており、屋外における交通量や通行人が激減し、犯罪への監視性が低くなったことにより、犯罪を起こしやすい環境となったことから増加したものと思料される。
- (2) 同州内で発生している故意殺人事件の8割以上が麻薬やガソリン窃盗組織との抗争によるものと治安当局より報告を受けているため、不特定な人物を狙っての犯行ではないと認識している。しかしながら、治安当局やこれら犯罪組織同士との銃撃戦や銃を利用した殺人が頻繁に州内で発生するなか、銃の流れ弾による一般人の死傷事件が発生していることから、引き続き在留邦人に対する注意喚起が必要である。
- (3) 更に、同州では故意殺人事件と同様に麻薬売買に関する事件が2018年8,739件に対して、2019年9,440件発生(全州1位のバハカリフォルニア州10,307件に次いで2位)、本年は6月の段階で6,769件と既に前年の認知件数の71.7%に達しており、故意殺人事件数増加に比例して麻薬に関する認知件数が増加していることから、背景には麻薬に関する事件が紐付いていることが理解できる。特にレオン市の麻薬売買の認知件数に関しては、2018年7,232件、2019年は7,176件となっており、本年においては6月までの認知件数が5,503件とグアナファト州全体の81.2%を占めていることから、レオン市内では故意殺人事件数が多いのだと思料される。

### 2 管轄地域内における一般犯罪の傾向(2020年4月～6月) ※前期2020年1月～3月

#### (1) グアナファト州 犯罪認知総数 26,420件(前期比23.3%減)

※レオン市では拳銃を利用した故意殺人事件や強盗事件(店舗強盗)、セラヤ市周辺では車両強盗が引き続き増加傾向にあるため注意が必要。

ア 故意殺人	844件(前期比 0.3%減)
イ 故意傷害	2,366件(前期比26.3%減)
ウ 車両強盗	669件(前年比 3.4%増)
エ 店舗・事務所強盗	797件(前年比 4.4%増)
オ 路上強盗	24件(前期比31.4%減)
カ 空き巣	750件(前期比36.6%減)
キ 店舗・事務所荒らし	789件(前年比21.7%減)
ク 脅迫・恐喝	1,800件(前期比29.3%減)
ケ 麻薬売買	3,120件(前期比14.5%減)

#### (2) アグアスカリエンテス州 犯罪認知総数 7,341件(前期比25.5%減)

※コロナ禍の影響で全体的に犯罪件数は減少傾向にあるが、故意殺人や住居強盗の凶悪犯罪は上昇傾向にある。

ア 故意殺人	23件 (前期比15.0%増)
イ 故意傷害	914件 (前期比 2.2%減)
ウ 車両強盗	13件 (前年比27.7%減)
エ 店舗・事務所強盗	34件 (前年比52.1%減)
オ 路上強盗	105件 (前期比37.5%減)
カ 空き巣	480件 (前期比30.9%減)
キ 店舗・事務所荒らし	389件 (前年比18.6%減)
ク 脅迫・恐喝	717件 (前期比22.2%減)
ケ 麻薬売買	664件 (前期比31.6%減)

(3) ハリスコ州 総数 28,855件 (前期比15.1%減)

※コロナ禍の影響で全体的に犯罪件数は減少傾向にある。故意殺人や店舗・事務所強盗は微減、住居強盗と輸送貨物強盗の件数は上昇傾向にある。

ア 故意殺人	443件 (前期比 1.3%減)
イ 故意傷害	1,836件 (前期比 4.7%減)
ウ 車両強盗	1,192件 (前年比16.2%減)
エ 店舗・事務所強盗	1,656件 (前年比 4.3%減)
オ 路上強盗	1,637件 (前期比17.9%減)
カ 空き巣	845件 (前期比29.7%減)
キ 店舗・事務所荒らし	784件 (前年比20.3%減)
ク 脅迫・恐喝	2,351件 (前期比12.3%減)
ケ 麻薬売買	208件 (前期比30.9%減)

(4) ケレタロ州 総数 11,149件 (前期比21.4%減)

※コロナ禍の影響で全体的に犯罪件数は減少傾向にある。店舗・事務所強盗が上昇傾向にある。

ア 故意殺人	37件 (前期比19.5%減)
イ 故意傷害	1,157件 (前期比 7.8%減)
ウ 車両強盗	128件 (前年比23.8%減)
エ 店舗・事務所強盗	213件 (前年比 2.9%増)
オ 路上強盗	184件 (前期比18.9%減)
カ 空き巣	528件 (前期比30.7%減)
キ 店舗・事務所荒らし	452件 (前年比23.0%減)
ク 脅迫・恐喝	730件 (前期比34.4%減)
ケ 麻薬売買	227件 (前期比36.2%減)

(5) サンルイスポトシ州 総数 9,670件 (前期比22.7%減)

※コロナ禍の影響で全体的に犯罪件数は減少傾向にある。ただし麻薬関連事件及び故意殺人事件の認知件数が引き続き増加傾向にある。

ア 故意殺人	1 4 4 件 (前期比 1 5 . 2 % 増)
イ 故意傷害	8 5 3 件 (前期比 1 7 . 3 % 減)
ウ 車両強盗	5 8 件 (前年比 3 4 . 8 % 減)
エ 店舗・事務所強盗	1 8 6 件 (前年比 7 . 9 % 減)
オ 路上強盗	1 1 2 件 (前期比 4 6 . 6 % 減)
カ 空き巣	2 3 3 件 (前期比 3 0 . 7 % 減)
キ 店舗・事務所荒らし	1 2 3 件 (前年比 2 8 . 9 % 減)
ク 脅迫・恐喝	6 6 3 件 (前期比 8 . 3 % 減)
ケ 麻薬売買	3 7 5 件 (前期比 1 4 . 3 % 増)

(6) サカテカス州 総数 5, 200 件 (前期比 17.2% 減)

※コロナ禍の影響で全体的に犯罪件数は減少傾向にある。ただし故意殺人、故意傷害、車両強盗、店舗・事務所強盗の凶悪犯罪は増加傾向にある。

ア 故意殺人	1 9 7 件 (前期比 3 6 . 8 % 増)
イ 故意傷害	4 9 8 件 (前期比 5 . 5 % 増)
ウ 車両強盗	8 2 件 (前年比 1 . 2 % 増)
エ 店舗・事務所強盗	2 3 件 (前年比 9 . 5 % 増)
オ 路上強盗	5 件 (前期比 1 6 . 6 % 減)
カ 空き巣	5 3 件 (前期比 3 6 . 9 % 減)
キ 店舗・事務所荒らし	1 3 件 (前年比 6 3 . 8 % 減)
ク 脅迫・恐喝	2 9 4 件 (前期比 9 . 2 % 減)
ケ 麻薬売買	7 5 件 (前期比 6 . 2 % 減)

### 3 安全に関わる諸問題及び対応策

- (1) グアナフアト州内では、麻薬やガソリン窃盗に関係する犯罪組織の抗争が激化しており、これら組織が関与した発砲事件や殺人事件、警察官を直接狙った襲撃事件も発生している。それら事件に巻き込まれないためにも、夜間の外出やそれら組織関係者が集まるようなバーやディスコ等の出入りについて極力避けると共に、違法薬物には一切かかわらないこと、また夜間を問わず一般市民が利用する公共の場所においても、発砲事件に遭遇する可能性は十分に考えられるため、普段から周囲の変化に敏感になれるよう注意が必要である。
- (2) 次に、銃器を利用した強盗も増加している。この様な事件に巻き込まれないためにも、発出される領事メール等を参考に、行動の制限（犯罪が多発する時間帯の外出制限、事件多発地域への通行を避ける等）を行うことで、被害に遭うリスクを下げる事が重要である。また、銃器を利用した車両強盗事案では、メキシコ人被害者が抵抗したために打たれる死傷事件が少なからず発生している。万が一にも事件に遭遇した際は、抵抗せず犯人等の指示に従うことが重要である。
- (3) そして、コンビニエンスストアやレストランの駐車場における車上荒らしが、引き続き発生して

おり、これら店の立地や利用する時間帯に注意するとともに、車両を離れる際は貴重品の放置に注意が必要である。

- (4) 最後に、コロナ禍の影響により、普段より交通量や人の通行量が減少し、視認性（人の目線）が低くなっているため、外出時には普段よりも警戒レベルを上げて行動することが重要である。

#### 4 日本人被害の犯罪発生状況（2020年4月～6月）

バヒオ地区における邦人被害数は、前期（2020年1月～3月）16件であったのに対して、今期（2020年4月～6月）は10件と減少傾向にあるが、銃器を利用した強盗事件等、事件内容が凶悪化している。

被害日時	被害場所	被害者	犯罪種別	被害状況
5月13日 (水) 18:15	グアナファト州 サラマンカ市内 ガソリンスタンド	在留邦人 男性	強盗 路上 (駐車場も 含む)	ガソリン給油中、拳銃を所持した男性（サングラス、帽子着用）が、車から降りると叫びながら接近。被害者が車内に置いていた財布と携帯を持ち車から降りると、財布も携帯もよこせと脅され、犯人にそれらを渡した。犯人は強奪した車両に乗車し逃走（2名）。被害は、車両、財布、携帯電話であり、ケガ等は無かった。
6月1日 (月) 14:00	グアナファト州 シラオ市 Puerto Interior 内 レストラン前駐車場	在留邦人 男性	窃盗 車上ねらい	レストラン正面にある駐車場へ車を駐車して、食事を終えて戻ってきたところ、後部座席の窓ガラスが何者かに割られていた事に気づいた。中には何も置いていなかったため、盗難物は無し。
6月12日 (金) 18:00	ケレタロ州 サンファン・デル・ リオ市	在留邦人 男性	その他スキ ミング等	ATM で現金を引き出した後、とつぜん声を掛けてきた男性より「もう一度カードを入れ直して、暗証番号を押す操作が必要だ」と言われ、指示に従った。その後、声を掛けてきた男性がそのカードを自ら取り出し、「ICチップに問題がある」様なそぶりをして、日本人男性にカードを返却し、その場を立ち去った。数日後、不明な現金の引き出しがあったため、確認したところ、銀行カードがすり替えられ、最寄

				りの ATM から現金 3 万ペソが引き出されていることが判明した。
6 月 13 日 (土) 夕刻	ハリスコ州 グアダラハラ市	在留邦人 男性	暴行・傷害 (発砲を含む)	自家用車の修理を頼んでいた修理工に車両を受け取りに行ったところ、全く整備作業を行っていなかった事が判明。前金で支払った料金を返却するように交渉したところ、店員に暴行を受けた。なお、同修理工とは以前からトラブルが続いていたとの由。

以上